



2025年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年12月27日

上場会社名 株式会社地域新聞社 上場取引所 東
コード番号 2164 URL http://www.chiikinews.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細谷 佳津年
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理本部本部長 (氏名) 江澤 務 TEL 047-485-1107
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第1四半期の業績（2024年9月1日～2024年11月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		売上総利益		EBITDA※		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第1四半期	788	4.5	567	5.7	18	—	11	△7.7	5	△54.1	3	△60.5
2024年8月期第1四半期	754	3.8	537	1.7	—	—	12	—	11	—	9	—

※EBITDA=営業利益+減価償却費

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第1四半期	1.00	—
2024年8月期第1四半期	4.40	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期第1四半期	1,554	609	39.2
2024年8月期	1,246	302	24.2

(参考) 自己資本 2025年8月期第1四半期 608百万円 2024年8月期 302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年8月期	—	—	—	—	—
2025年8月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年8月期の業績計画（2024年9月1日～2025年8月31日）

当社では、当会計年度の経営目標を「業績計画」として開示しております。「業績計画」は経営として目指すターゲットであり、いわゆる「業績の予想」または「業績の見通し」とは異なるものであります。

(注) 直近に公表されている業績計画からの修正の有無：無

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		売上総利益		EBITDA※		営業利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
事業活動	3,201	7.5	2,322	9.2	128	—	98	—
先行投資活動	—	—	—	—	△25	—	△25	—
合計	3,201	7.5	2,322	9.2	103	64.7	73	113.1

※EBITDA=営業利益+減価償却費

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年8月期1Q	3,740,414株	2024年8月期	2,670,276株
② 期末自己株式数	2025年8月期1Q	820株	2024年8月期	759株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年8月期1Q	3,739,594株	2024年8月期1Q	2,158,603株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期の経営成績等の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に社会経済活動が緩やかに回復し、物価上昇の影響から足踏みが続いていた個人消費も持ち直しの傾向が見られました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の不安定化、エネルギーを始めとした原材料価格の高騰、外国為替の不安定化等、先行き不透明な状況が続いております。

そのような環境の中、当社は新たな経営体制で策定した「Strategic Plan」を発表し、当社が保有するアセット（173万世帯への配布網、2,500人の配布スタッフ、年間8,000社の取引企業等）を活用した他社との事業アライアンスによる新サービスの創出、いわゆるシーパワー・ストラテジーへの転換を掲げ、社内体制の構築及びアライアンス先企業並びにアライアンス候補企業との間でアセット活用方法を策定に取り組んでいます。

広告関連事業全体におきましては、集客のための広告需要は引き続き高く、回復傾向が続いております。

新聞等発行事業のうち「ちいき新聞」の発行事業におきましては、2024年11月末現在で、2県40エリアで40版を発行、週間の発行部数は約173万部となりました。中大ロクライアント獲得に営業リソースを集中し顧客単価の向上を図る方針は継続しており、当第1四半期会計期間では修理業、買取業、セミナー告知といったセグメントは引き続き高い需要が続いております。加えてスタートアップの企業が自社商材の認知度を高める目的で当社アセットを活用するケースも出てきております。その他にも、富裕層向け情報誌「AFFLUENT（アフルエント）」、子育て支援情報誌「ままここと®」、求人情報紙「Happiness」など、「ちいき新聞」以外の媒体も発行し利益創出に努めております。「Happiness」は求人需要の高まりに加えて、株式会社ツナググループ・ホールディングスと業務提携により好調に推移しております。

折込チラシ配布事業におきましては、それぞれの地域にカスタマイズされた独自の地図情報システム（GIS）を活用することにより、広告主の顧客ターゲットが明確となり効率的、かつ、広告効果の最大化を図るサービスを実現しております。当第1四半期累計期間におきましては、不動産業、冠婚葬祭業などの業種は引き続き需要が高い状態が続いており、大口クライアントからの告知需要も捉えて売上を牽引しました。なお、2024年9月より折込価格の改定を行っておりますが、需要の減少影響は僅少であり、高い競争力を維持して収益力強化につながっております。

販売促進総合支援事業におきましては、「ちば市政だより」の配布業務受託を中心とした行政自治体の刊行物制作・配布の受託増加に加え、ショッピングセンターにおけるイベント企画・運営についても取引が拡大しております。また、株式会社中広が展開する「地域みっちゃく生活情報誌」のVC（ボランティア・チェーン）契約を締結したことで、今後全国1,300万部/月の媒体ネットワークの活用が進み、販売促進総合支援事業を牽引していくと考えております。

その他事業につきましては、WEB事業において、メインコンテンツであるコミュニティサイト「チイコミ！」をプラットフォームとして保持しながらユーザー情報やインフラ機能等の自社アセットを活用して他社サービスとのアライアンスによる新サービスをプラットフォーム上に充実させていく「WEB版港町構築プロジェクト」を進めており、2024年10月24日付「Strategic Plan SeriesⅢ」でその完成イメージを記載しております。

なお、当社は資本政策の一環として新株予約権を発行しており、係る費用として営業外費用の新株予約権発行費を4,964千円として計上しております。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は788,381千円（前年同期比104.5%）、経常利益は5,442千円（前年同期比45.9%）、四半期純利益は3,755千円（前年同期比39.5%）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

A. 資産

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ307,934千円増加し1,554,533千円となりました。これは、主に現金及び預金が177,332千円増加、売掛金が131,025千円増加したことによりです。

B. 負債

当第1四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べ7,159千円増加し673,438千円となりました。これは、主に買掛金が33,352千円増加、未払金が18,372千円増加、未払費用が22,286千円減少、1年内返済予定の長期借入金15,000千円減少したことによりです。

当第1四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末に比べ6,309千円減少し271,739千円となりました。これは、主に長期借入金9,996千円減少したことによりです。

C. 純資産

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ307,084千円増加し609,356千円となりました。これは、主に新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ151,424千円増加したことによりです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社では、当会計年度の経営目標を「業績計画」として開示しております。「業績計画」は経営として目指すターゲットであり、いわゆる「業績の予想」または「業績の見通し」とは異なるものであります。2024年10月11日に「2024年8月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしました2025年8月期の業績計画に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	772,176	949,508
売掛金	249,388	380,414
仕掛品	14,600	19,490
貯蔵品	1,203	888
前払費用	25,389	29,588
その他	895	184
貸倒引当金	△2,893	△3,274
流動資産合計	1,060,761	1,376,801
固定資産		
有形固定資産	42,206	40,913
無形固定資産	62,114	56,977
投資その他の資産		
敷金及び保証金	63,200	63,200
繰延税金資産	15,314	13,999
その他	4,804	4,538
貸倒引当金	△1,801	△1,896
投資その他の資産合計	81,517	79,841
固定資産合計	185,837	177,732
資産合計	1,246,599	1,554,533

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	96,121	129,474
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	75,818	60,818
未払金	199,306	217,678
未払費用	23,808	1,521
前受金	7,201	3,356
未払法人税等	9,830	3,908
賞与引当金	—	5,510
その他の引当金	—	4,344
その他	54,191	46,826
流動負債合計	666,278	673,438
固定負債		
長期借入金	90,060	80,064
退職給付引当金	165,944	169,614
資産除去債務	22,044	22,060
固定負債合計	278,049	271,739
負債合計	944,327	945,177
純資産の部		
株主資本		
資本金	360,008	511,432
資本剰余金		
資本準備金	290,008	441,432
資本剰余金合計	290,008	441,432
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△347,004	△343,248
利益剰余金合計	△347,004	△343,248
自己株式	△806	△827
株主資本合計	302,205	608,789
新株予約権	66	566
純資産合計	302,271	609,356
負債純資産合計	1,246,599	1,554,533

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
売上高	754,459	788,381
売上原価	217,444	220,695
売上総利益	537,014	567,685
販売費及び一般管理費	524,528	556,165
営業利益	12,486	11,520
営業外収益		
受取利息	2	3
助成金収入	—	76
物品売却益	82	77
その他	7	66
営業外収益合計	92	224
営業外費用		
支払利息	391	634
新株予約権発行費	45	4,964
支払保証料	294	294
その他	—	408
営業外費用合計	731	6,301
経常利益	11,847	5,442
税引前四半期純利益	11,847	5,442
法人税、住民税及び事業税	2,369	372
法人税等調整額	△28	1,314
法人税等合計	2,341	1,687
四半期純利益	9,506	3,755

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

新株予約権の行使により、発行済株式の総数が1,070,138株、資本金及び資本準備金がそれぞれ151,424千円増加し、当第1四半期会計期間末において資本金が511,432千円、資本準備金が441,432千円となっております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	6,568千円	6,889千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自 2023年9月1日 至 2023年11月30日）

当社は、広告関連事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間（自 2024年9月1日 至 2024年11月30日）

当社は、広告関連事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。